

1. 平成 19 年度(第 31 回)通常総会(平成 19 年 4 月 20 日)

1 - 1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



只今ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。本日の平成 19 年度、第 31 回の通常総会の開会に当り、一言ご挨拶を申し上げます。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただいております。また、ご来賓としまして、日頃よりご指導いただいております千葉県計量検定所より、本年 4 月に新に赴任されました菊地所長様、企画指導課の塚本課長様、木口様にお運びいただいております。協会を代表して厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年来一部大企業による身の回りの生活製品から、電力プラントに及ぶ一連の事故やその事後の対応、食品の安全性を問われる事件、また官公庁の入札をめぐる不正や、テレビ番組でのデータの捏造ややらせ問題など、業界、企業、個人のモラルを問われる事例が後を絶ちません。これらはいわゆる企業の社会的責任（コンプライアンス）の問題として、安易にひと括りにされてしまいますが、それぞれの事案についての原因を正しく究明するとともに、今後起こりうるリスクについても十分に管理していく必要があります。協会としまして、今後はこれらの社会環境の変化や予期せぬ事態への対応するために、今一度基本と正道に戻って活動に取り組んでいきたいと考えております。このために、会員としての守るべき基本理念を定めた倫理綱領を、他県単に先駆けてこの度策定いたしました。

当協会は昭和 51 年に創立後昨年で 30 周年の節目の年を迎え、7 月 14 日には行政機関、関係団体、会員の皆様含め 100 名以上の方にお集まりいただき、盛大に記念式典を開催いたしました。また、記念誌の発行や協会のロゴマークの制定など 30 周年を記念した事業を実施いたしました。今後は次なる節目の 40 周年、50 周年に向けて千環協の活動をさらに活発にしていきたいと考えております。そのためにも、協会活動に対して会員各社の皆様のなご一層のご理解とご協力をお願いする次第であります。

本日はこれより協会規約に基づき第 31 回の通常総会を開催いたします。昨年 1 年間の事業報告、決算報告、本年度の事業計画及び収支予算案につきましてご審議いただく他、協会規約の一部改正につきましてご提案させていただく予定です。合わせまして、今回新たに制定しました倫理綱領につきましても、ご説明する予定です。

本日出席されている会員の皆様からも、協会活動に対してよりご理解いただきたく、活発なご討議と忌憚のないご意見をお願いいたします。

以上簡単でございますが、本日の通常総会開会のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。